事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 総合発達支援デイサービスすみれ

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	いえない	1		改善内容又は改善目標 - 人数が多い時は狭い - 少し狭い様な時もある気がする→公園に 行ったり、部屋を分け 分散する
・体制整備	2	職員の配置数は適切である	2	5	0		・送迎で少ないと感じる時がある ・配置数は適切だが実際には少ない気もする
備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	0	4	3		・階段や入口に段差が ある。→介助や見守り を必要としている
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	1	5	1	・常勤が会議を 行っている ・日誌に細かく 記載したり、問 題点を話し合っ ている	
業務改	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	2	0	・評価表を活用 している ・アンケート結 果をもとに話し 合い、取り組ん でいる	
善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	1	0	・HPにて公開し ている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	5	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	4	2	1	・定期的に研修 を行っている ・研修の日をも うけて行ってい	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	・毎月話し合い、保護者の ニーズも聞い ている	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	3	4	0	・活用しようと 考えている	
	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	0	・職員が考えた ものを子供とバ ランスをとり 行っている	
適切な	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	2	0	・固定化しない 様に工夫して いる	
支援の	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	3	0	・課題を決めた り、そうでな かったりしてい	
提供	<u>1</u> 4)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	6	1	0	・話し合い作成 している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15)	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	1	0	・確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	3	1	・全員で集まれない時は日誌の ない時は日誌の ふり返りにて情報共有している ・終了後や次の 日の朝行ってい	
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	0	・細かく記録す るようにしてい る	
	18)	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	7	0	0	・モニタリング を行っている ・毎月話し合っ ている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	3	4	0	・子どもたちの 自主性を尊重 しながら創作 活動や公園、 児童館での遊 び(地域交流) を行っている ・行っている	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6	1	0	・参加している	
	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、 連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡)を適切に行っている	0	2	0	・行っている	
関係機関	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	2	3	2		・今のところ該当児童 を受け入れていないが 今後そう言った児童を 受け入れる時は整えて
関や保護者	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	2	5	0		・今後おこなっていきた い
との連携関	24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	1		・まだ行っていない
係機関や保	25)	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	6	0		・今後おこなっていく予 定
保護者と	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	4	3	0	・充分にある	
の連携	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に 参加している	1	6	0		・参加しようとしている が出来ていない→体 制を整え参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7	0	0	・送迎時に行っている・送迎時等で共通理解を図っている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		保護者の対応力の向上を図る観点から、		いんゆい		必要に応じて	・今後より盛んに行っ
	29	保護者の対応力の向上を図る観点がら、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	5	2	0	行っている	ていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	5	2	0	・契約時、変更 時に行っている	
	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	送迎時に行っているその都度行っている	
保	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	1	2	4		・まだしていないが、今 後開催するか検討して いく
体護者への説	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	6	1	0	・迅速に対応している	
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3	2	2	・ホームページ のブログで発 信している	
₹	35)	個人情報に十分注意している	6	1	0	・職員間でも話 し合い、注意し ている	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	6	1	0	・SNSや書面類 を活用している ・配慮している	
	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	0	3	4	・まだ行ってい ないが、地域 のボランティア 団体を利用し ようと思ってい	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	3	4	0		・マニュアルは策定し ているがまだ職員や保 護者に周知していない →周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・予定している	
非常時	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5	2	0	・予定している	
等の対応	41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	4	0		・月一回会議を行うと 共に、放課後等デイ サービス計画を記載し ようと思っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	4	2	1		・対象のお子さんがい ないので今後利用が あれば対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	7	0	0	・毎月共有している・全体会議で共有している	

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	ナエック項目	1801	いえない	VIVIA	点のこり入工	改善内容又は改善目標

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。